

施策：	12	セーフティネットの推進	財務コード	12020601-01-00
基本事業：	99	施策の総合推進	担当部	市民生活部
基本事業の 成果指標			担当課	国保年金課
			担当係	国保担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~	新規・継続	継続	会計区分		実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者		給与の支払いを受けている被保険者が、 新型コロナウイルス感染症に感染または発熱等の症状があり感染が疑われる 3日連続して仕事を休み、4日目以降も休んだ日がある 療養のため労務に服することができず、給与の全部または一部を受けることができない 場合に傷病手当金を支給する。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		【傷病手当金】				
傷病手当金を支給し経済的支援を行う		1日当たりの支給額 × 支給対象となる日数 （1日当たりの支給額） = 直近の継続した3カ月間の給与収入の合計額 ÷ 就労日数 × 3分の2				

4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	目標	
		実績	実績	当初	要求	計画	計画		
支給件数	件	2	6	5	5				
5. コスト									
事業費	計	千円	80	232	200	5,500			
	国	千円	0	0	0	0			
	県	千円	80	216	0	5,500			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
正職員人工数	人工	0.1	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費	千円	803	792	773					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	883	1,024	973	5,500				

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）	< 状況 > R3年度実績：支給件数6件、支給金額232,561円 前年度よりも支給件数、支給金額ともに増加した。 < 原因 > R2年度に開始され、事業の定着とともに感染者の増加に伴い、実績も伸びたと考えられる。 < 課題 > 納税通知書発送時、広報、HP等でお知らせし、窓口・電話でも相談が多くなっている。コロナウイルスに感染した人が対象なので、支給件数が増えればよいというものではない。								

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	< 状況 > < 原因 > < 課題 >					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は小	業務推進課題	なし						
成果向上余地	小さい								

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	--	--	--	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
新型コロナウイルス感染症の感染等による療養のため、労務に服することができなくなった人の経済的補償を行うため、令和2年度より事業が開始された。									
備考・特記事項 or 進行管理欄									